

鹿屋市教育総合会議資料

特別支援教育の推進に 関する事業報告

令和5年1月19日(木)
鹿屋市教育委員会学校教育課

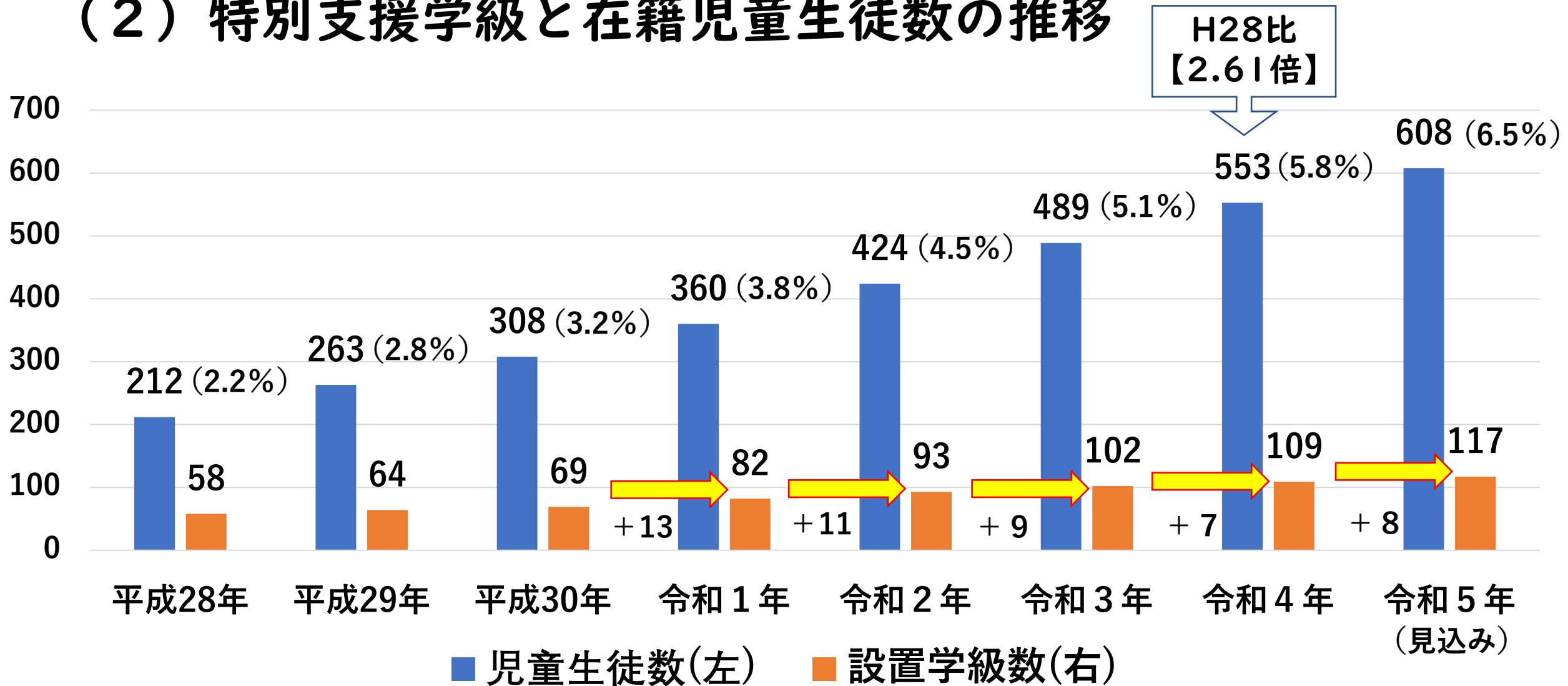
Ⅰ 特別支援教育に係る本市の現状

(Ⅰ) 特別な学びの場を利用する児童生徒

障害種	状態像
知的障害	<ul style="list-style-type: none">□知的発達の遅滞があり、他者との意思疎通に軽度の困難。□日常生活を営むのに一部援助が必要。□社会生活への適応が困難。
自閉症・ 情緒障害	<ul style="list-style-type: none">□自閉症又はそれに類する者で、他者との意思疎通及び人間関係の形成が困難。□心理的な要因で選択性緘黙等がある者で、社会生活への適応が困難。
肢体不自由	<ul style="list-style-type: none">□歩行や筆記等、日常生活における基本的な動作に軽度の困難。
病弱	<ul style="list-style-type: none">□慢性の呼吸器疾患、その他の疾患の状態により、持続的、間欠的な医療又は生活の管理が必要。□身体虚弱の状態により、持続的に生活の管理が必要。

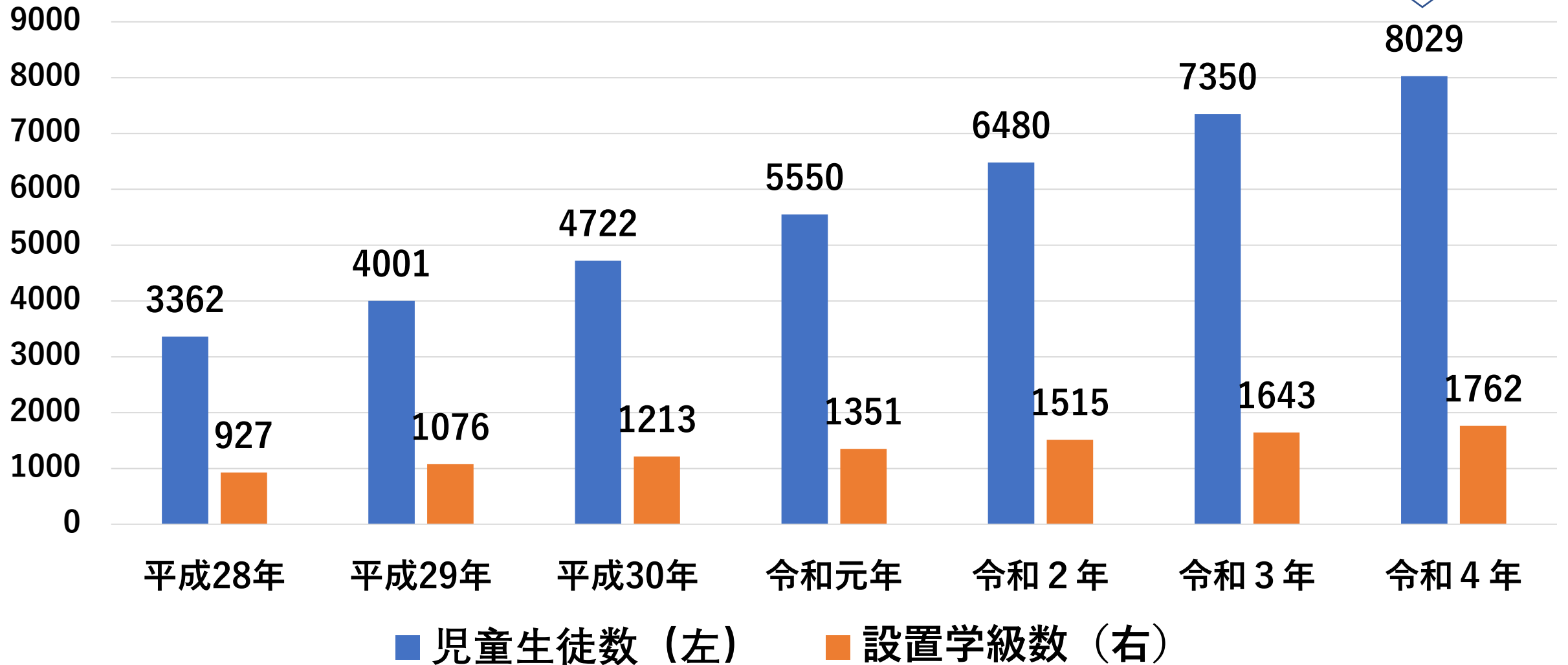
Ⅰ 特別支援教育に係る本市の現状

(2) 特別支援学級と在籍児童生徒数の推移



Ⅰ 特別支援教育に係る本市の現状

<参考：鹿児島県の推移>

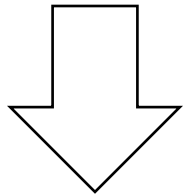


Ⅰ 特別支援教育に係る本市の現状

(2) 特別支援学級と在籍児童生徒数の推移

<令和4年12月現在>

中学校における特別支援学級に在籍する生徒
113人／30学級



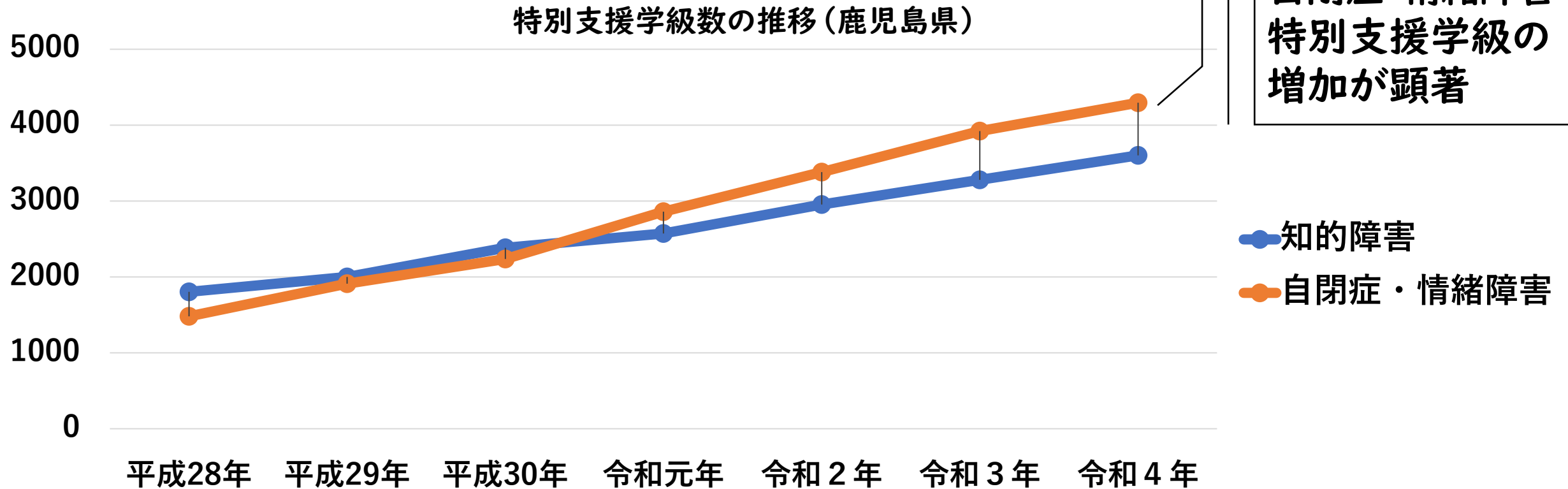
特別支援学級に在籍する児童が
継続して支援学級を利用し続けた
場合

<令和8年度予想>

中学校における特別支援学級に在籍する生徒数
209人／ ?学級(30学級以上)

Ⅰ 特別支援教育に係る本市の現状

<特別支援学級増加の要因>



- 知的発達遅滞のない「発達障害」に対する理解と認知の広がり
- 通級指導教室の不足
- 地域での過ごし方、家庭養育環境等の変化

Ⅰ 特別支援教育に係る本市の現状

特別支援学級の増加に伴い、教員の不足が顕著になりつつある。

<課題解決のための具体策>

教員の専門性の向上

- 特別支援学級に在籍する児童生徒の障がい等に起因した生活上又は学習上の困難さを改善し、可能な限り通常の学級に戻していく（インクルーシブ教育の推進）。

早期からの効果的な就学支援の実施

- 就学前から子どもの実態を的確に把握し、保護者の意向だけではなく、子どもの教育的ニーズに応じた学びの場を適切に準備できるようにする。

2 特別支援教育に関する教員の専門性向上に資する取組

<専門性の向上を図る取組>

○ 特別支援学級担当者研修会の実施：年2回

【充実に向けて】 国立特別支援教育総合研究所との連携

□ 効果的な研修プログラムの検討・開発（→R5より実施）

○ 通級指導教室担当者研修会の実施：年6回（R3は、1回のみの実施）

【充実に向けて】 近隣市町・関係機関と連携した事例検討会の実施

□ 垂水市、大崎町、肝付町の通級指導教室担当者も参加

□ 鹿屋養護学校の教員も参加

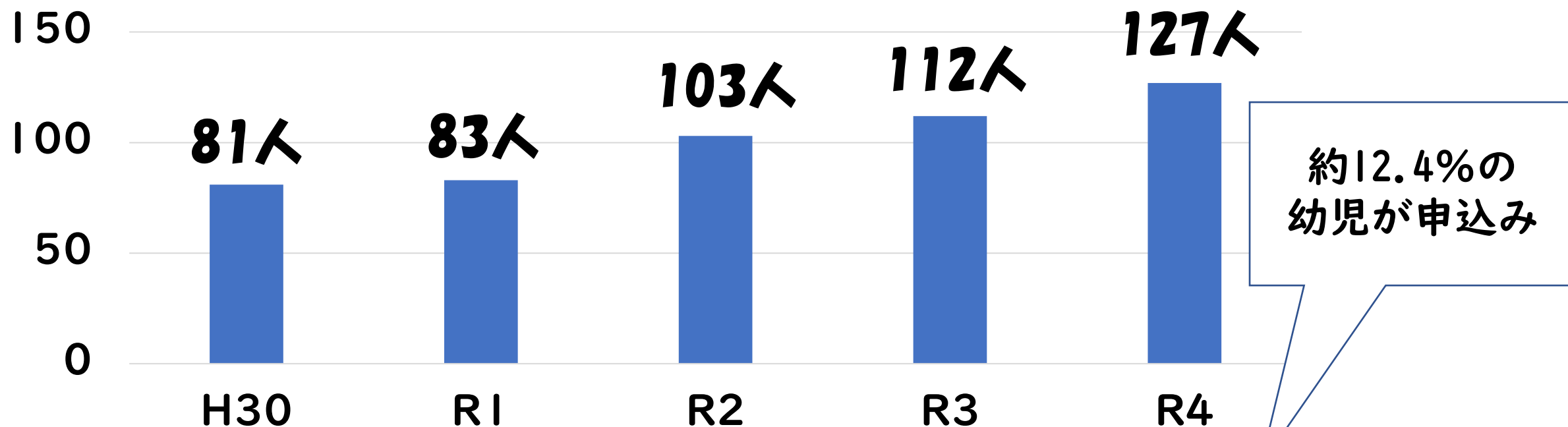
○ 特別支援教育支援員研修会の実施：年2回

○ 特別支援教育だよりの発行（令和4年度より。各学校の好実践を紹介）

3 早期からの効果的な就学支援、連続性のある支援体制の整備

(1) 早期からの効果的な就学支援に資する取組

<就学教育相談を受けた幼児数の推移>

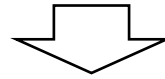


【参考】令和5年度新1年生：1028人（見込み）

3 早期からの効果的な就学支援、連続性のある支援体制の整備

(1) 早期からの効果的な就学支援に資する取組

周囲の支援を必要とする教育的ニーズがある幼児の増加



保護者及び子どもが在籍する幼稚園や保育所等との連携は必須

就学支援に関する
園長向けの説明会

6月上旬に4日間の設定
計27園から43人の参加
参加率:59%

就学支援に関する
保護者向けの説明会

6月下旬に4日間の設定
計36人の参加

指導主事による
保育所等訪問

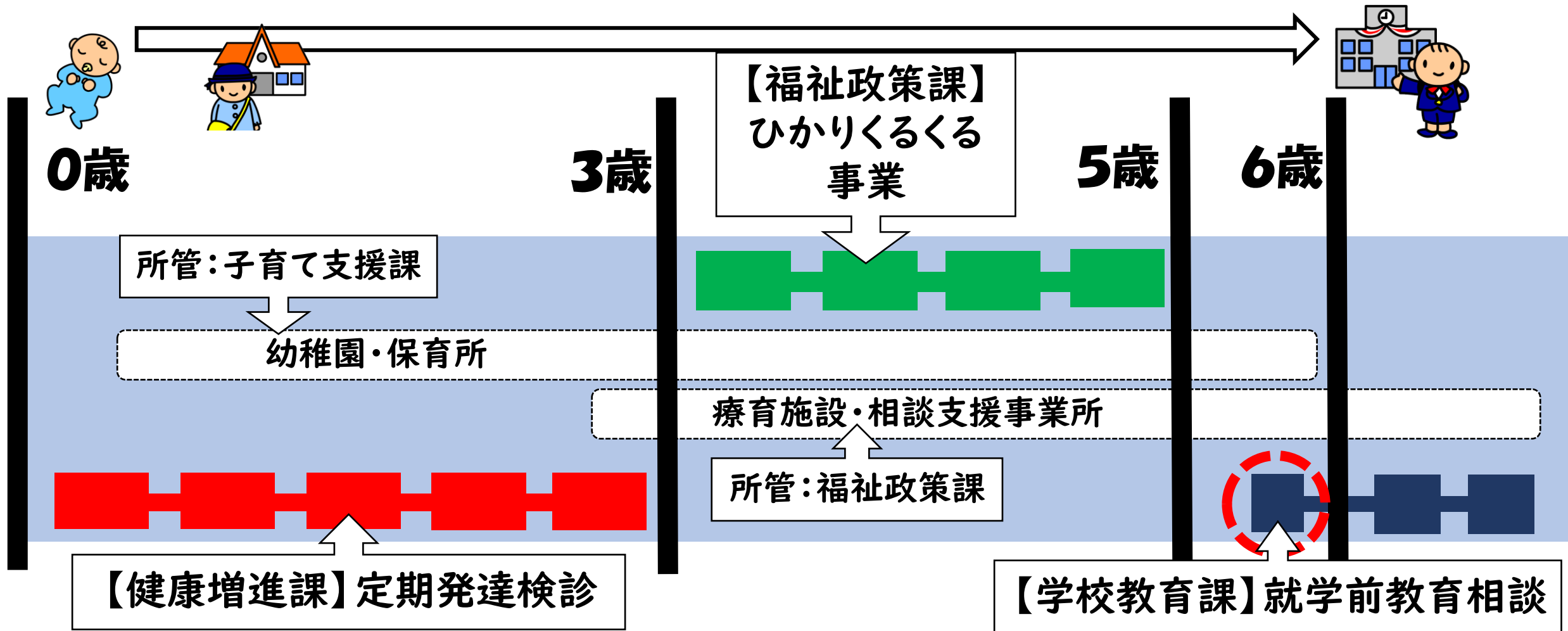
幼児の行動観察・
保育者との情報交換

福祉政策課事業
「ひかりくるくる
事業」に同行

4 令和5年度に向けて(今後の展望)

「点」ではなく、「線」と「面」による就学支援の展開

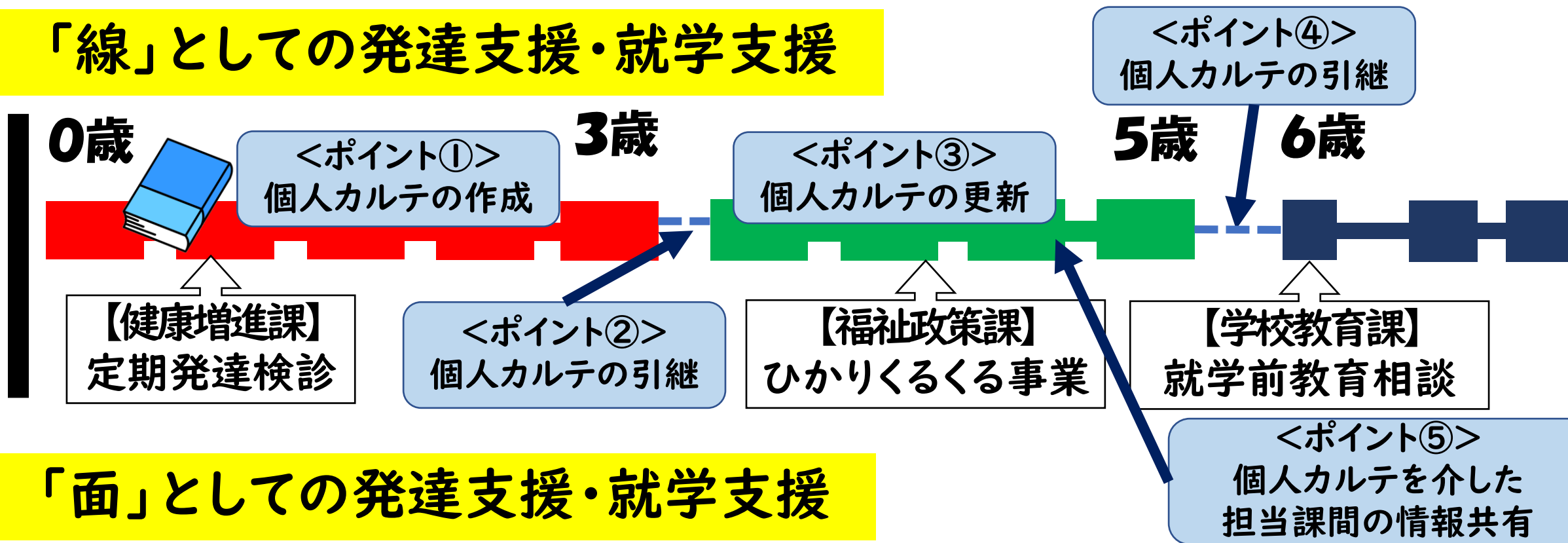
<課題> それぞれの取組のつながりが弱い。



4 令和5年度に向けて（今後の展望）

「点」ではなく、「線」と「面」による就学支援の展開

「線」としての発達支援・就学支援



「面」としての発達支援・就学支援

- 庁舎内の相談窓口の一本化（養育・発達・教育に関する総合相談窓口）
- 地域連絡協議会の常設（域内：医療・福祉・教育の各分野の代表者）